事例No.	1369
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	宮城県石巻市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・EBPM ・消防・防災

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

宮城県　石巻市（森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施）

- 石巻市の私有林人工林面積は県内最大であり、森林所有者による適切な経営管理が行われていない森林を9,900haと見込んでいる。今後、森林経営管理制度の効果的な推進を図るため、重点実施区域を東日本大震災関連の集団移転住宅周辺森林及び山地災害危険地区に該当する森林から進める方針を策定し、検討会において意向調査等の優先順位を決定した。
- 令和元年度は森林所有者への意向調査に向けて、対象地の選定、優先順位の決定付けを行った。
- 令和２年度は、以下のとおり、意向調査及び間伐を実施し、集団移転住宅周辺森林の災害リスクの緩和を図った。
  ・市内の私有林人工林270ha（全私有林人工林面積の1.99％）の意向調査を実施した。集団移転住宅周辺森林は、行政委員等を通じて居住者の意向の確認も行い、同意箇所の間伐を実施した。今後10年間で、市内全域の危険度の高い箇所について意向調査を進める。
- 令和３年度は、さらに山地災害危険地区の意向調査を進め、効率的な間伐を進めていくこととしている。

□ 事業内容

1　森林所有者等への意向調査の実施

- 災害リスクが他の箇所より大きく、森林整備を行う必要性が高い集団移転住宅周辺森林及び山地災害危険地区の森林であって，過去に森林整備を実施していない箇所を優先して意向調査を実施。市内の私有林人工林270ha（596人分）の森林所有者に対し、森林の経営管理の意向を調査。

【事　業　費】19,959千円（全額譲与税）
【実　　績】意向調査面積　270ha

2　間伐等の森林整備の実施（石巻市森林環境整備事業）

- 過去に森林整備を実施していない森林で東日本大震災の津波で集団移転した住宅周辺森林を対象に、間伐を実施。

【事　業　費】4,549千円（全額譲与税）
【実　　績】間伐2.5ha



（事業１：間伐前の状況）



（事業１：間伐後の状況）

□ 事業スキーム

1　森林所有者への意向調査の実施

市 → 委託 → 森林組合 → 調査 → 所有者

2　間伐等の森林整備への支援（石巻市森林環境整備事業）

市 → 委託 → 森林組合

□ 工夫・留意した点

- １の事業において、災害リスクの観点からの優先順位付けを行う際に、検討会に諮り、災害公営住宅には石巻市から区長に住民の意向取りまとめを依頼し，住民の理解を得ながら進めた。
- 2の事業においては、意向調査の結果，森林所有者，地域住民の間伐への理解が得られた箇所について間伐を実施した。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	54,958千円
②私有林人工林面積（※１）	11,772ha
③林野率（※２）	55％
④人口（※３）	147,214人
⑤林業就業者数（※３）	139人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より